第 68 期日本材料学会学術講演会参加報告

修士課程 1 年　竹下遙
羽山元晶

5 月 24 日，25 日，26 日に北海道の室蘭工業大学で開催された第 68 期日本材料学会学術講演会に参加および発表致しました．本学会は，数値解析，非破壊材料強度評価，疲労損傷観察ならびに強度評価，高温材料の変形・破壊・損傷評価と実機への適用，生体・医療・福祉材料などの分野でセッションが行われ，基礎研究および実用化研究を幅広く取り扱っています．

（竹下）

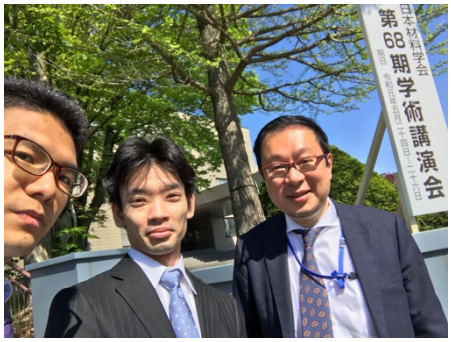
私は「生体・医療材料」のセッションで「金属製ディッシュを利用した熱刺激におるがん細胞に対する殺細胞効果の検討」というタイトルで発表致しました．私が参加したセッションでは，生体材料を用いた研究についての発表が多くあり，非常に有意義な場でした．また，生体材料を用いて細胞の配向性などの研究発表もされており，様々な知見を得ることができました．

発表は 10 分，質疑応答が 5 分であり，私は多少の緊張はありましたが，練習通り発表できたと感じております．質疑応答では，基礎的な質問があり，研究をしていく中で，検討する必要があるアイデア等も頂きました．

最後に発表の機会を与えて下さった小茂鳥先生，研究を進めていくうえでご指導いただいた宮田先生，竹村先生，倉科さんに御礼申し上げます．

（羽山）

私は疲労分野のセッションで「AIH-FPP による SCM440 鋼表面の結晶粒微細化と疲労特性の評価」というタイトルで発表をしました．この研究は昨年卒業された古瀬さんが行った研究で，今回の学会では私が結果をまとめて発表をさせていただきました．先輩の行った研究を発表するという難しさもありましたが，うまくまとめて発表できたのではないかと思っています．また質疑応答では AIH-FPP に関するものや疲労試験に関するものなどたくさんいただき，自身の研究に参考になるものが多くありました．最後に発表の機会を与えて下さった小茂鳥先生，発表にご協力いただいた古瀬先輩，武末先生にこの場をかりて御礼申し上げます．



羽山，武末先生，小茂鳥先

羽山と竹下（会場前にて）